

エコタウンえどがわ推進本部第1回本部会議 要旨

日時：平成20年7月7日（月）

午前10時開会

場所：江戸川区役所第一委員会室

1. 区長挨拶

2. 本部員委嘱

3. 本部員紹介

4. エコタウンえどがわ推進計画の紹介

- ・ビデオによるエコタウンえどがわ推進計画の紹介

5. 江戸川区の現状について

【地域や学校、事業所等での環境の取り組みについて】

- ・事務局より地域や学校、事業所等での環境の取り組みについて説明

6. 意見交換

【区民への取り組みの広げ方について】

○本部員の発言・要約

《運動の進め方》

- ・リサイクル部会からもったいない部会に名称を変更し活動している。
- ・マイ箸運動の推進を。
- ・省エネ、エコ活動は家事につながり主婦が担い手になる。
- ・主婦の意識改革も必要なので積極的にPRして家庭を巻き込むことが大切。
- ・省エネ、エコ活動に男性、子どもをいかに取り込むかが課題。
- ・子供たちの姿を見て、親たちも省エネ意識(もったいない運動)を持つ。
- ・リサイクル活動は子供を巻き込む形で推進を。
- ・身の周りから運動(教育)を進める。
- ・子供達をとおして親を教育。
- ・エコ、もったいない活動、こどもが親の行動を見ている。

- ・美化運動ももったいない運動を広める一つ的手段。
- ・学校と PTA と祖父母を巻き込んだ運動が効果的ではないか。
- ・エコ、リサイクル、社会福祉活動、切り口をかえたエコ活動。
- ・知っているから、しているの意識改革を地元にもどり広めていきたい。
- ・ゴミ発生源なので商店が取り組む問題が多いが、売上につながらないのが難しい。
- ・店全体(従業員全員)がもったいない運動を理解する必要がある。
- ・企業種別ごとにどのようなエコ活動ができるか検討したい(エコ部会の発足)。
- ・それぞれがそれぞれの立場でエコに取り組む。

《環境教育》

- ・小学校の冷房化に伴い、子どもたちが省エネ意識を持つことは重要。
- ・学校教育の中で環境教育をもっと取り上げてもらいたい。

《ゴミ・リサイクル》

- ・町会ではペットボトルの回収を積極的に行っている。
- ・分別収集の大切さゴミの分別は、若い人をどう取り込むかが課題である。

《現状・その他》

- ・マイバッグの持参者が多くなった気がする。
- ・ペットボトルの統一化ができないか。
- ・節約の必要性。
- ・知っているから、しているへの距離が長い。
- ・防災のことも念頭にいれて行動を。
- ・講座も含めエコセンターの活用を。